

I 組織プロフィール

1 組織の目的・役割

- (1) 東日本大震災津波及び平成28年の台風第10号災害からの沿岸市町村の復興の推進のため、地域のニーズ等も踏まえ引き続き積極的に支援します。
- (2) 限られた人的資源や財源の効果的活用を図るとともに、地域に寄り添い、管内8市町とも連携しながら、一丸となって県民本位の行政サービスの向上に努めます。
特に、人のつながりや地域間・産業間のネットワークを最大限に活用して、情報発信力を高め、地域や産業の振興に努めるとともに、安心・安全な地域社会の形成に全力で取り組みます。
- (3) 盛岡地域は本県の経済・学術・文化の拠点であり、また、すべての広域振興局と接するという立地条件を活かして、県民一人ひとりが将来にわたって確かな未来を描くことができる岩手の実現のため英知を結集し、その牽引役としてオール岩手の総合力の向上に努めます。
具体的には、全県への波及等も視野に入れながら、各圏域や産業間の連携強化を促進し、未来を見据えた先進的・戦略的・効果的な事業を積極的に展開します。

2 組織の主要な価値提供先(顧客)やビジネスパートナー

- (1) 価値提供先(顧客)
地域住民、商工観光業・農林業・建設業・保健福祉医療等の事業者です。
- (2) パートナー
・盛岡広域8市町、商工観光業・農林業・建設業・保健福祉医療等の関係団体、NPO、大学、試験研究機関等です。
・沿岸の市町村・広域振興局等です。

3 主要な価値提供先(顧客)ごとの提供すべき価値

- (1) 商工観光業・農林業・建設業・保健福祉医療等の事業者に対する復興支援を含めた各種支援や情報の提供に努めます。
- (2) 地域住民に対する快適で安心・安全な生活の確保や保健福祉医療の充実など質の高い行政サービスの提供に努めます。
- (3) 沿岸市町村の本格復興が推進するよう引き続き各分野において支援に努めます。

4 組織や業務を取り巻く環境とその変化

- (1) 本県沿岸市町村は平成23年3月、東日本大震災津波に見舞われ大きなダメージを受けました。発災から8年目となりましたが、本県では、職員、全国の自治体等からの応援職員の尽力により、復興に向けて着実に進んでいます。また、平成28年の台風第10号により甚大な被害を受けた地域の住環境の整備や地域産業の再生など復旧・復興事業が進んでいます。また、ILCの実現に向けた準備、ラグビーワールドカップ2019釜石開催に向けた準備、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプ地の誘致など、復興の象徴となる取組の推進が求められています。
- (2) 本県は、平成32年社会減ゼロを目指して、「岩手で働く」、「岩手で育てる」、「岩手で暮らす」を3本柱に、県民総参加でふるさと振興に取り組むこととされています。
- (3) 平成28年6月に知事等が「イクボス宣言」を行い人口の減少対策を進めるとともに、働き方改革にも取り組むこととされています。
- (4) 本県は、65歳未満の若年者層から脳血管疾患及び心疾患の死亡率が高い状況にあるため、働き盛り年代を中心とした県民の健康づくりの取組を強化することとしています。
- (5) 圏域の観光客入込数は、震災の影響から回復しましたが、世界遺産の平泉・釜石、北東北三県・沿岸地域との連携や台湾等の外国人観光客、教育旅行生徒の誘致等による観光客の誘客が課題となっています。
- (6) IT関連企業の集積が着実に進展するとともに、県内の販売額の3割を占める農業地帯と県内最大の食料消費地を抱えるという圏域の強みを活かした食品事業者と生産者の協力・連携により、所得の向上や雇用の拡大につながる事が期待されています。
- (7) 農業経営体の事業拡大、生産性向上及び高付加価値化により収益性を向上させるとともに、地域協働による農村資源の維持保全や活用により、所得・雇用の確保と定住人口の拡大が期待されています。
- (8) 伐採から造林、保育といった森林の循環利用を進め、圏域の森林資源を将来にわたって安定的に確保する必要があります。
- (9) エネルギーの確保が世界的な課題となっていますが、圏域においても自立電源の確保など災害に強い地域づくりのため、公共施設、企業、家庭において再生可能エネルギーを利用した設備の導入促進が求められています。
- (10) 東北縦貫自動車道、一般国道4号・46号などの広域幹線道路や東北新幹線、JR各線、IGRいわて銀河鉄道などにより、北東北の広域交通ネットワークの要衝として重要な役割を担っています。また、沿岸地域とを結ぶ復興道路の整備が進み、沿岸地域の復興の架け橋としての役割も担っています。

組織スローガン、キャッチフレーズ など

キャッチフレーズ

想いを形に 地域を元気に

復興の推進に向けた課題解決の視点

代表的な課題	課題を解決するための具体的な方策
○ 沿岸地域と内陸地域との連携の促進	・ 沿岸地域と内陸地域とを結ぶ道路の整備促進 ・ 沿岸企業との連携によるネットワークの形成や食品加工業・農業へのカイゼン導入等による人材の育成
○ 盛岡地域の産業と連携した沿岸地域の産業の活性化	・ 沿岸地域と連携して、沿岸地域への観光客の誘客、物産品の販路拡大、首都圏等への情報発信 ・ 沿岸地域物産品の積極購入等による支援 ・ 若者や女性の視点を活かした地域づくり、産業振興の推進

「岩手県職員憲章」を具体的な行動に結びつける取組の視点


- 組織の目的達成のため、職員の自律性や能力開発を促し、職員の能力が十分発揮できるようにします。
- 職員が相互に協力し、組織力が向上するよう努めます。
- 「コンプライアンス確立の日」に、所属長や職員が「岩手県職員憲章」の5つの信条に関連したスピーチを行い、憲章の定着や行動を促進します。
- 合同庁舎前の歩道の落葉清掃等、地域活動やボランティア活動に積極的に参加し社会に貢献します。

II 本年度の業務運営方針




1 本年度の業務における主要課題

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
<p>1 学術研究機能等の集積を生かした連携・交流によるIT・ものづくり産業の振興</p>  <p>■ 連携情報収集システムの全体イメージ (自転車乗客の例)</p> <p>【目的効果】 産学官連携による産学官連携システムの構築により、産学官連携による産学官連携の推進を図る。</p>	<p>①新規立地(累計) H28:16件 → H29:17件 → H30:22件 増設(累計) H28:0件 → H29:1件 → H30:8件 誘致計(累計) H28:16件 → H29:18件 → H30:30件</p> <p>②組み込みソフトウェア技術者等養成人数 H28:244人 → H29:203人 → H30:150人</p> <p>③ソフトウェア関連取引成約件数 H28:10件 → H29:12件 → H30:8件</p> <p>④経営革新計画承認数 H28:24件 → H29:13件 → H30:8件【13件】 産学官連携事業数(累計) H28:3件 → H29:5件 → H30:5件【6件】</p>	<p>① 盛岡広域地域産業活性化基本計画等に基づく企業集積の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛岡広域地域産業活性化協議会による立地促進に係る活動支援【地経費】 「盛岡広域企業立地セミナー」の開催(2月)等による立地環境の情報発信 地域未来投資促進法岩手県基本計画に基づき、管内事業者の地域経済牽引事業計画策定を支援 <p>② 地域産業を支える担い手の育成【広域】</p> <ul style="list-style-type: none"> IT人材確保対策の実施 中堅人材(経験者)の確保を支援するため、首都圏で「岩手IT県人会」を開催(3月) 学生(岩手大学・県立大学、産業技術短大)と県内企業とのマッチング支援を行うため、「いわて情報産業就職フォーラム」を開催(3月) 高等教育機関等と連携した地域志向型キャリア教育のコーディネートの実施(4校、4~2月) 工業高校生(進学者)を対象とした県内就職促進に向けた支援 <p>③ IT産業・ものづくり産業の異業種交流による相乗効果の創出【広域】</p> <ul style="list-style-type: none"> IT連携コーディネーターの配置による事業マッチングの支援(企業訪問 50件) 体調センサーの開発とプロ選手向けの受注を目指し、自社製品・サービスの開発支援(1テーマ) 自社開発型企業としての参入企業の拡大支援【新規】 管内企業の取り組み事例に学ぶ研修会の開催(1回) 新たな他産業の課題解決を通じた参入支援 農業分野への参入支援【新規】 農業分野のニーズとIT企業のシーズのマッチングを図るアイデアソン実施(9月) プログラミング教育に関する教育分野への参入支援【一部新規】 ワークショップの開催による検討・検証(5回) <p>④ 新事業創出・起業の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営革新計画に係る事業活動の支援 小規模事業者等の経営の改善や経営の再構築を支援(随時) IT連携コーディネーター活動による産学官連携の支援 	<p>経営企画部</p> 
<p>2 産業と地域の連携による滞在型広域観光の推進</p>	<p>①②④⑤SNSを活用したファン数 H28:3,987人 → H29:4,807人 → H30:4,200人【5,200人】</p> <p>③県央圏域での外国人観光客入込数 H28:73.6千人回 → H29:118千人回 → H30:88.3千人回 【147千人回】</p>	<p>① 国民体育大会・北海道新幹線開通などを契機とした観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道からの教育旅行誘致拡大に向けた教育旅行説明会への参加(7月)【地経費】 <p>② 健康・食・癒しをテーマとした滞在型観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 少人数や家族で楽しめるテーマ別観光モデル等の発信(7月)【新規】【地経費】 酒蔵と連携した外国人観光客の誘客(スタンプラリー)(10月~3月)【新規】【広域】 いわてS-1スイーツフェア2019の開催(2月)【地経費】 	<p>経営企画部 土木部</p>  



項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
 <p>CARD OK</p> <p>外国人おもてなしまとめサイト 「いわての10手」アイコン</p>		<p>③ 国際観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台中国際旅行博への出展(5月)、台湾からの招聘ツアー商談会の開催(秋)、台湾旅行会社へのフォロー訪問(12月)【広域】 ・個人旅行者(FIT)向け交通アクセス等ガイド(繁体字版)の発行(9月)【新規】【広域】 ・タイ国際旅行フェアへの出展支援等(2月)【広域】 ・いわて雪まつりへの外国人観光客の誘客(2月)【主要】 ・ラグビーワールドカップに向けたおもてなし運動(おもてなし講座DVD貸出、セミナーの開催11月、2月)【地経費】 ・訪日外国人に向けた観光情報発信(TIC東京4月～3月)【広域】 ・酒蔵と連携した外国人観光客の誘客(スタンプラリー・再掲)(10月～3月)【新規】【広域】 <p>④ 広域観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定化した開通日(4/15)に併せた円滑な除雪作業の実施と十和田八幡平「桜と雪の回廊観光キャンペーン」の実施(4月～5月)【秋田県鹿角地域と連携】【広域】 ・「紅葉と温泉キャンペーン」の実施(9月～11月)【秋田県鹿角地域と連携】【地経費】 ・雫石・田沢湖・角館「冬めぐりキャンペーン」の実施(12月～3月)【秋田県仙北地域と連携】【地経費】 ・宮古一室蘭フェリー利用につながる観光PRの実施(6月)【沿岸局と連携】【新規】【地経費】 ・いわて雪まつりの支援(2月)【雫石町、盛岡市、滝沢市と連携】 <p>⑤ 歴史・文化や都市の魅力を生かしたまちなか観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北絆まつりの支援(6月)【新規】 	
<p>3 地域資源を生かした特色ある食産業と地場産業の展開</p>  <p>台湾での岩手県物産展</p>	<p>① 専門家派遣事業者数 H28: 4社→H29: 5社→H30: 5社</p> <p>② 異業種交流ネットワークから生まれたプロジェクト件数(累計) H28: 8件→H29: 9件→H30: 12社</p> <p>③ 経営革新計画支援件数 H28: 15件→H29: 11件→H30: 15社</p> <p>④ 地域内の生産者と飲食店をつなぐ交流イベント等の開催回数(累計) H28: 11回→H29: 16回 →H30: 11回【22回】</p> <p>⑤ 首都圏シェフ等の招聘者数 H28: 4人→H29: 13人 →H30: 5人【10人】</p>	<p>① 食産業関連事業者の生産性向上と人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程改善の取組支援(農業法人(1社): 4月～9月)【広域】 ・専門家の活用による付加価値向上の支援(海外向け商品の開発などに取り組む事業者等4事業者に年2回程度専門家を派遣)【広域】 <p>② 食や工芸を中心とした異業種交流ネットワークの拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手事業者等による農商工連携の取組成果発表等交流セミナーの開催(年1回程度(2月))【広域】 ・地域の食のプロジェクト(三ツ星village、フルーツライン396等)支援を通じた人材育成【広域】 ・食産業のネットワーク(フードビジネスネットワーク、食産業ネットワーク)の活性化(随時) ・塩の道を軸とした食と歴史の魅力発信に向けたシンポジウム等の開催(11月)及び事業推進体制の検討【一部新規】【地経費】 <p>③ 高付加価値化による商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食や工芸の新商品、新技術、事業展開の支援(新たに経営革新計画に取り組む事業者の支援、経営革新計画承認後のフォローアップ支援)(随時) <p>④ 農畜林産物の地域内流通の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の生産者と飲食店をつなぐ交流機会の創出(商談会6・9・11月、産地見学会10・1月、食材フェア10月【新規】)【広域】 <p>⑤ 県外への販路拡大と食や工芸と観光の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏シェフ等の招聘(年2回程度)【広域】 ・小規模事業者の輸出拡大に向けた台湾での物産展の開催(12月)【広域】【県南局・沿岸局と連携】 ・生産者、飲食店等の情報整備・発信(随時) ・食のイベント等と連携した地場産業のPR機会の創出(S-1スイーツフェア) ・食や工芸を活用した観光PRや旅行商品素材の発掘(随時) ・商流及び物流事業者等の商社機能強化に向けた支援(セミナー開催等)【新規】【広域】  <p>三ツ星village ハーベストレストラン (食のアウトドアフェス)</p>	<p>経営企画部 農政部</p>


項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
<p>4 次世代に継承できる農業経営の展開と魅力ある農村資源の活用</p>  <p>牛飼い女子・いわてロゴマーク</p>	<p>①次世代に継承できる農業経営の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者の経営改善計画達成率 H28:39%→H29:未定→H30:35% ・新規就農者数(単年度) H28:63人→H29:77人→H30:63人 <p>・法人経営体数(累計) H28:148経営体→H29:未定 →H30:149経営体</p> <p>・女性の認定農業者数(累計) H28:127名→H29:未定 →H30:190名</p> <p>②産地の持続的な発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農畜産物販売額 H28:587億円→H29:未定 →H30:563億円  <p>銀河のしずく Ginga no Shizuku</p> <p>「銀河のしずく」ロゴマーク</p>	<p>①次世代に継承できる農業経営の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新規就農者の確保・早期経営安定 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村の就農候補者リスト掲載者への情報提供を支援(4~3月) ・農業法人の人材確保及び就農促進に向けた農業法人と農業大学校生徒等との情報交換会(オープンファーム)の開催(1月) ・新農業人フェアに来場する相談者へのきめ細かな対応を行う盛岡管内PR・相談窓口の設置(9月、1月) ○ 収益力の高い経営への改善 <ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地利用集積促進(4~3月)(北部:農地耕作条件改善事業等の活用事例の情報提供(主に水田)、南部:受け手と出し手のマッチング支援(畑地(果樹)) ・ほ場整備事業や農地耕作条件改善事業による農地利用集積の推進とほ場の大区画化 ・重点支援対象を見直し(4~6月)、組織体制整備及び合意形成を誘導、法人化の促進に向けた集落営農経営力向上講座の開催(11~12月、3回)及び助言指導(ビジネスモデル提示等)を実施(4~3月) ・市町が主催する集落営農組織を対象とした研修会の開催及び内容充実を支援(随時) ・カイゼンモデル農家(雫石町、1者)の農作業の効率化等による経営発展に向けたカイゼン活動支援及び効果の実証(4~9月、月1回)【広域】 ・カイゼン活動の啓発に向けた専門家派遣による現地指導及び実績報告会の開催(1月)、事例集の作成【一部新規】【地経費】 ・作業効率改善等による経営発展に向けた作業管理システムの導入実証(4者、4~3月)【地経費】 ○ 若手農業女性の活躍支援 <ul style="list-style-type: none"> ・若手女性農業者支援対象リスト掲載者等を対象とした研修会及び情報交換会等の開催(5回) ・女性農業者が参加する各種研修会等における経営改善計画の共同申請を誘導(随時) ・女性の経営参画に向けた牛飼女子グループ等の自立的な活動を支援(4~3月) <p>②産地の持続的な発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 産地資源の継承 <ul style="list-style-type: none"> ・園芸販売額1,000万円を目指す重点支援経営体(22経営体(予定))の技術・経営指導計画の策定と指導(5~2月) ・規模拡大に向けた施設導入を支援 ○ 新品種導入と水田フル活用による収益性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・「銀河のしずく」の食味品質基準クリアに向けた高度な生産技術を持つ「生産者マイスター」の認定拡大及び高品質安定生産の取組強化【地経費】 ・「銀河のしずく」栽培研究会等の県版GAP取組(第三者確認)に向けた研修会等の開催【一部新規】【地経費】 ・首都圏お米マイスター「東京都ごはん区」と生産者との産地交流会の開催(7月)、首都圏イベントでの認知度向上PR及び関西圏(大阪、京都等)の百貨店での試食販売PR(10月~12月)【地経費】 ・「もち姫」の商品開発等新たな需要の喚起及び安定収量の確保に向けた研修会の開催(9月)【一部新規】【地経費】 ○ 園芸の収益性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・環境制御などの最新省力園芸施設の導入を支援(盛岡市) ・加工用玉ねぎの大規模生産に向けた機械導入及び栽培技術確立による産地化を支援【一部新規】【地経費】 ・パート等就労希望者を対象とした農作業見学会(7月、2回)及び若手県立大等の学生を対象とした説明会の開催(9月)【地経費】 ・八幡平ほうれんそう調製センターの利用促進に向けた経営モデルの提示【地経費】 ・りんごの輸出拡大に向けた病害虫防除技術指導及び台湾輸入商社向けパンフレット作成によるPRを支援【一部新規】【地経費】 ・薬用作物の安定生産に向けた健全種苗確保のための採種圃設置支援、安定生産技術実証及び栽培技術研修会等の開催【地経費】 	<p>農業振興室 農村整備室 盛岡農業改良普及センター 八幡平農業改良普及センター</p>

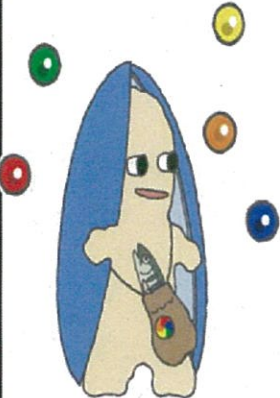
項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
	<p>・畜産クラスター組織(累計) H28:15組織→H29:16組織 →H30:6組織【16組織】</p> <p>③農村資源の維持保全と活用 ・農村交流人口 H28:1,456千人→H29:未定 →H30:1,200千人</p> <p>・多面的機能維持発展に係る共同活動の取組農地面積割合 H28:71%→H29:73% →H30:79%</p>  <p>学生ボランティア(農村サポーター)による地域活動支援 (八幡平市横間集落「虫追い祭り」)</p>	<p>○ 畜産の収益性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼養規模拡大や省力化に向けた適正な牛舎設計、経営計画の作成、個別経営体の技術習得などの助言指導 ・HACCP導入を参考とした乳質低減リスク管理及び飼養管理改善の実証(支援地域:管内全域、実証:葛巻町(継続)2戸、(新規)2戸、研修会1回)【地経費】 ・新規就農者および規模拡大志向農家の経営安定・発展に向けた肉牛快飼(にくうしかうかう)塾の開催(対象地域:管内全域、全5回、対象:新規就農者、規模拡大志向農家各10名程度)【地経費】 ・八幡平市繁殖・育成センター整備に向けた事業実施計画の作成支援【新規】 <p>○ 家畜伝染病対策、野生鳥獣被害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域支部各班の連携確認及び関係機関との意識共有に向けた実動訓練の実施(消毒ポイントを想定)、10月、1回) ・紫波町赤沢地区において研修会等開催による住民の意識醸成など地域ぐるみでの野生鳥獣被害防止活動を支援 ・矢巾総合射撃場の整備に向けた管内市町等の協議会設立及び事業採択支援 <p>○ 農業用水の安定供給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業水利施設の計画的な補修・改修及び防災・減災対策を実施(実施地区:太田堰地区(盛岡市)ほか14地区) <p>○ 農産物の効率的な輸送のための農道整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動時間・作業時間の短縮を図るため農道を整備(巻堀2期地区(盛岡市)ほか1地区) <p>○ 食産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塩の道を軸とした食と歴史の魅力発信に向けたシンポジウム等の開催(11月)及び事業推進体制の検討【一部新規】【地経費】【3②の再掲】 <p>③ 農村資源の維持保全と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業農村の多面的機能の維持・保全活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・多面的機能支払制度導入志向地域の座談会等における制度の活用促進 ・地元代表者や土地改良区・市町等で構成する協議会での情報共有を通じたアドプト活動の促進 ・児童や地域住民を対象とした出前授業による農業農村整備事業の理解醸成(6月～12月)及び新たに制作した紙芝居(「船田堰(盛岡市玉山区)」)で地元学として農業水利開拓史の紹介 ○ 「ひと」が「つながり」「豊か」に暮らせる中山間地域の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接支払制度における「協定の規模拡大」又は「集落戦略・機能維持加算」に取り組む集落の「集落戦略」策定に向け、先行事例の紹介及び隣接集落等の広域化に取り組む集落の掘り起こしを促進 ・「地域ビジョン」及び「いきいき暮らし活動支援事業計画」の策定への助言(2集落(盛岡市・葛巻町))【地経費】 ・農村における地域活動、農作業等への学生ボランティア(農村サポーター)受入体制の整備を支援(3集落(盛岡市・八幡平市・葛巻町)、4～3月)【地経費】 ○ 都市・農村交流の促進、異業種との連携促進 <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド旅行者の受入れ拡大に向けた先行モデルの創出(体験ツアー等実施)(雫石町、4～3月)【地経費】 ○ 食文化の継承と起業活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・産直組織の運営に必要な知識を習得する研修会の開催(6～3月、盛岡地区1回、八幡平地区1回) ・重点支援産直(1組織(予定))に対する産直の経営力強化に向けた重点支援を実施(八幡平地区) ・起業活動・経営の発展のために必要な知識の習得及び技術向上等に向けた研修会の開催(6～3月、座学1回・先進地視察1回) 	<p>農業振興室 農村整備室 盛岡農業改良普及センター 八幡平農業改良普及センター</p>  <p>イメージキャラクター おたまたがエル</p> <p>農業農村整備 イメージキャラクター おたまたがエル</p>

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
<p>5 森林資源の循環利用による 林業・木材産業の振興</p>  <p>間伐推進キャラクター カンバツ君</p>  <p>原木しいたけPRキャラクター ゲンボくん</p>	<p>【森林の若返りの促進】</p> <p>①適切な森林整備と担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造林面積 H28:394ha→H29:390ha(見込み) →H30:500ha ・間伐面積 H28:1,516ha→H29:未定→ H30:2,200ha ・林内路網の開設延長(累計) H28:2,237km→H29:2,251km→ H30:2,219km【2,272km】 ・森林施業プランナーの育成(累計) H28:20人→H29:26人→ H30:22人【28人】 ・山地災害防止機能が確保された 集落数 H28:91箇所→H29:93箇所→ H30:91箇所【94箇所】 <p>②地域材の利用促進及びブランドの 確立</p> <p>地域材製品取扱量(丸太換算) H28:2,772m³→H29:未定→ H30:2,348m³【3,600m³】</p> <p>③木質バイオマスの利活用の促進</p> <p>木質バイオマス燃料の利用量 H28:24,215t→H29:未定→ H30:20,800t【25,000t】</p> <p>④しいたけの生産振興</p> <p>乾・生しいたけ生産量 H28:643t→H29:未定→H30:778t</p>	<p>① 適切な森林整備と担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伐採から造林までの一貫作業研修会の開催(1回、9月) ・森林整備事業等による造林を支援(随時) ・造林作業効率化のモデル実証(5月)【新規】【地経費】 ・松くい虫被害拡大、北上阻止に向けた樹種転換、広葉樹林化や早期駆除の実施支援(随時、春4~6月、秋10~12月) ・森林組合や事業者への間伐等補助事業の導入指導(5月) ・間伐材利用促進に係る列状間伐勉強会の実施(1回、10月) ・合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策事業等やいわて環境の森整備事業の導入指導(5月~) ・県有林の経営管理に基づく除間伐等の森林整備を推進(随時) ・林道事業の計画的な推進(4路線、660m) ・林道新規路線の採択に向けた検討(4月~) ・合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策事業等による森林作業道開設を支援(20,647m) ・地域けん引型林業経営体の森林施業集約化に向けた森林経営計画策定と実践を指導(随時) ・地域けん引型林業経営体と施業プランナーの連絡会議(1回、1月)及び実践活動支援(随時) ・緊急性の高い地区からの計画的な治山事業の実施(12工事) ・治山施設点検の実施(4月~) <p>② 地域材の利用促進及びブランドの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設・公共工事木材利用推進盛岡地方支部会議の開催(7月) ・アカマツ材利用拡大に向けた連絡会議(1回、2月)【地経費】 ・アカマツ材利用モニター住宅見学会の開催(2棟、12月~1月)【地経費】 ・地域材利用のパンフレット作成(2月)【地経費】 <p>③ 木質バイオマスの利活用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストックポイント等を活用したカスケード利用により、木質バイオマス発電所への安定供給を指導(随時) ・木質バイオマス利用施設の事例紹介や導入指導(フォーラム2月、情報提供、随時) ・樹種転換、広葉樹林化等補助事業を活用した、松くい虫被害材等のバイオマス発電施設での利用を指導(随時) <p>④ しいたけの生産振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内からのしいたけ原木確保に向けた原木コネクターの活動支援(9名)【地経費】 ・原木しいたけの特徴を生かした普及(「ゲンボくん」ぬいぐるみ作成・活用 6月~【新規】、海外を含めた販売促進活動の支援 11月~2月)【地経費】 ・原木しいたけ講演会及びしいたけ生産者の集いの開催(11月)【新規】【地経費】 	<p>林務部</p>  <p>林道鈴峠2号線(葛巻町)</p>

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
 <p>「いわてで働こう」 シンボルマーク</p>	<p>6 雇用・労働環境の整備</p> <p>①新規立地(累計)【再掲】 H28:16件 → H29:17件 → H30:22件 増設(累計) H28:0件 → H29:1件 → H30:8件 誘致計(累計) H28:16件 → H29:18件 → H30:30件</p> <p>②組込みソフトウェア技術者等養成人数【再掲】 H28:244人 → H29:203件 → H30:150人</p> <p>③県央圏域高卒者の管内就職率 H28:58.8% → H29:56.6% → H30:60.0% 高卒管内就職者の離職率(1年目) H28:16.0% → H29:14.1% → H30:15.8% 企業訪問件数(就業支援員) H28:234件 → H29:418件 → H30:230件【500件】 学校訪問件数(就業支援員) H28:311件 → H29:297件 → H30:350件【360件】 障がい者就労・生活支援センター 等の支援対象者の就職率 H28:9% → H29:未定 → H30:15%</p>	<p>① 多様な雇用の場の創出【1①④の再掲】 ・各種産業振興施策の推進(企業誘致、新事業・起業支援)</p> <p>②地域産業を支える担い手の育成【1②④の再掲】 ・IT人材確保対策の実施 ・高等教育機関等と連携した地域志向型キャリア教育のコーディネート(4校、4～2月) ・工業高校生(進学者)を対象とした県内就職促進に向けた支援 ・経営革新計画の策定支援等を通じた新事業への取組の促進</p> <p>③人材の確保と若年者等の就業支援 ・盛岡広域就業支援関係機関の連携によるもりおか高校生就職面談会(10月)、もりおか就職ガイダンス(3月)の開催 ・新規高卒者の希望と適性に応じた県内事業所等への就職支援(7月～) ・企業訪問等による新規高卒者の職場定着支援(通年) ・人材育成・定着支援員の配置による地域中核産業の若手等の人材確保・育成と定着支援【新規】 ・工業高校生(進学者)を対象とした県内就職促進に向けた支援【1②の再掲】 ・建設業界と連携した大学及び中学校での出前授業の開催 ・県民を対象とした建設現場見学会の開催【地経費】 ・中学生を対象とした就業体験学習の実施【一部新規】【地経費】 ・ハローワーク、岩手県Uターンセンター、ふるさと回帰支援センター等と連携した県外からの人材確保やU・ターン希望者の就業支援(随時) ・障がい者の法定雇用率引き上げに関する法改正等の周知 ・関係機関と連携した特別支援学校等の生徒の就職支援及び定着支援(随時)</p> <p>④ 企業における雇用・労働環境整備の促進 ・働き方改革の取組や労働条件の改善等について商工団体等への要請(6月) ・企業訪問時における働き方改革の普及啓発 ・県契約受注者の法令遵守や適正な労働条件の確保を図るための取組の推進(随時)</p>	経営企画部 土木部
7 産業経済活動、地域間交流 を支える交通ネットワークの 整備	<p>①道路整備事業完了工区数 H28:3工区 → H29:3工区 → H30:6工区</p> <p>②復興道路・復旧道路の整備完了工区数 H28:0工区 → H29:0工区 → H30:1工区</p> <p>③救急搬送等道路の整備完了工区数 H28:0工区 → H29:1工区 → H30:2工区</p>	<p>①交通ネットワークの整備 ・国道282号一本木バイパス(用地補償) ・国道282号佐比内工区(用地補償) ・国道281号大坊の2工区(改良工事の推進) ・主要地方道盛岡環状線中鶯飼工区(改良工事の推進) ・一般県道大ヶ生徳田線徳田橋工区(橋梁下部工の推進)</p> <p>②沿岸地域の復興を支える道路の整備 ・国道281号大坊の2工区【7①の再掲】</p> <p>③医療機関への救急搬送ルートの整備 ・国道281号大坊の2工区【7①の再掲】 ・一般県道大ヶ生徳田線徳田橋工区【7①の再掲】 ・一般県道不動盛岡線矢巾SIC工区(町道交差点部の工事推進)</p>	 <p>徳田橋 完成予想図</p> 土木部

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
<p>8 地域の魅力を生かした文化・スポーツの推進</p> 	<p>① 県央圏域における総合型地域スポーツクラブ会員数(全戸加入を除く)(累計) H28: 2,375人 → H29: 2,030人 → H30: 2,384人</p> <p>③ 若者文化振興事業費補助件数(H29～) H29: 1件 → H30: 1件</p>	<p>① 総合型地域スポーツクラブ等と連携したスポーツの推進 ・活動発表・意見交換等の機会の提供など、総合型地域スポーツクラブの活動支援【地経費】 ・イベント等を通じた多様なスポーツライフの提案や体験機会の提供【新規】【地経費】</p> <p>② スポーツツーリズムの推進体制の構築等への支援 ・クライミング拠点施設等を活用した合宿誘致やスポーツ資源活用調査など、いわてスポーツコミッションの取組への参画によるスポーツツーリズムの推進【一部新規】【地経費】 ・「(仮称)もりおかシティマラソン大会」事業や葛巻町スポーツツーリズム奨励事業、東京オリンピック事前キャンプ誘致啓発事業(紫波町)など、管内市町における取組の支援【一部新規】【地経費(市町村事業)】 ・盛岡広域スポーツコミッションとの連携による事業・イベント等の実施</p> <p>③ 文化芸術の振興 ・文化芸術活動支援ネットワーク会議の活動支援 ・文化芸術活動に取り組んでいる若者の掘り起こし及び活動支援 ・管内市町における「明治150年」関連の取組への支援【新規】</p>	<p>経営企画部</p>
<p>9 健やかな暮らしを支える地域保健・医療の充実</p>  <p>「いわて減塩・適塩の日」 推進キャラクター</p>	<p>① 健康づくりの推進 ・脳血管疾患による年齢調整死亡率(人口10万人当たり) 【男性】H28: ㉗56.9 → H29: ㉘51.4 → H30: 55.6【48.2】 【女性】H28: ㉗29.1 → H29: ㉘25.4 → H30: 32.5【24.7】</p> <p>・特定健康診査受診率 H28: ㉗45.5% → H29: ㉘45.3% → H30: 70.0%</p> <p>・メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合 男 H28: ㉗44.5% → H29: 未定 → H30: 37.6% 女 H28: ㉗17.1% → H29: 未定 → H30: 13.6%</p> <p>② 地域医療の充実 盛岡地域災害医療対策連絡会議への参加団体数 H28: 29団体 → H29: 32団体 → H30: 25団体【32団体】</p>	<p>① 健康づくりの推進 ○ 関係機関・団体との連携の推進 ・健康いわて21プラン(第2次)を推進するため、盛岡圏域ヘルスサポートネットワーク会議を開催(年2回 8、2月) ○ 脳卒中予防対策の推進 ・「いわて減塩・適塩の日」の普及促進のため、食品スーパー等との協働による普及キャンペーンを実施(年10回 5～2月) ・地域における減塩活動の促進を図るため、減塩リーダー養成講習会を開催(年2回 5、8月) ・減塩・適塩習慣の定着を支援するため、出前講座を開催(15回以上 ※健康づくりサポート事業フォローアップ講座含む)(通年) ・県民の健康づくりを支援する環境整備として、外食栄養成分表示店の登録を推進(新規登録10店舗以上) ・受動喫煙の防止を図るため、禁煙飲食店の登録を推進(新規登録20店舗以上) ○ 特定健康診査受診率向上のための市町支援 ・健康増進普及月間(9月)や出前講座等における普及啓発 ・盛岡地域健康づくり担当者連絡会における情報提供や先進地事例紹介 ○ 働き盛り世代の健康づくりの支援 「元気もりおか健康づくりサポート事業」【拡充】【地経費】 ・職場での健康づくり体験(「体重測定」「血圧測定」「歩数測定」)を通して、事業所及び従業員の健康づくりの意識を高める取組として、健康づくりチャレンジマッチ事業を実施(参加事業所30か所)(5～11月) ・健康づくりチャレンジマッチ参加事業所に対して、従業員自身が健康管理できる能力を高めることを支援するため、フォローアップ講座を開催(10事業所) ・圏域の健康経営への取組を推進するため、事業所向け健康セミナーを開催(年1回 2月)</p> <p>② 地域医療の充実 ・岩手県保健医療計画における盛岡保健医療圏の取組の進捗状況把握、事業評価のため、盛岡圏域医療連携推進会議を開催(年1回 9月) ・地域医療構想(圏域)における病床機能分化と連携等の調整を図るため、盛岡構想区域地域医療構想調整会議を開催(年3回 6、11、2月) ・圏域内における災害時の医療支援連携体制を構築するため、盛岡地域災害医療対策連絡会議を開催(年1回 12月) ・医療機関等の人員配置・構造設備・管理体制の状況を実地に確認するため、医療監視を実施(11病院、50診療所等 6～2月) ・医療職への進学・就職への動機付けを行うため、盛岡北部3市町(八幡平市、葛巻町、岩手町)の中学生を対象に地域医療出前講座を実施(3中学校 7～9月)【新規】</p>	<p>保健福祉環境部</p>

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
<p>10 安心で心豊かな福祉 コミュニティづくりの推進</p>  <p>自殺対策キャラクター「アイ」は、あちまんの「アイ」、Iwateの「アイ」です。</p>	<p>① 地域生活支援の充実 地域密着型サービス拠点数 (累計) H28:94箇所→H29:98箇所 →H30:100箇所</p> <p>障がい者のグループホーム利用者数 H28:594人→H29:未定 →H30:651人</p> <p>生活困窮者自立支援計画作成 件数 H28:56件→H29:74件 →H30:70件</p> <p>子どもの学習支援参加生徒数 H28:68人→H29:82人→H30:150人</p> <p>生活保護の適正実施の推進</p> <p>② 子育て環境の充実 ・保育を必要とする子どもに係る 利用定員 H28:10,623人→H29:未定→ H30:11,133人 ・「いわて子育て応援の店」の延 べ協賛店舗数[累計] H28:540店舗→H29:580店舗 →H30:575店舗【600店舗】</p> <p>③ 自殺対策の推進 自殺死亡率(人口10万人当たり) H28:25.5→H29:未定→H30:22.0</p> <p>ゲートキーパー養成数(市町村 実施分含む) H28:1,266人→H29:1,905人 →H30:900人【2,000人】</p>	<p>① 地域生活支援の充実 ・高齢者福祉施設、介護保険施設等の介護給付等対象サービスの質の確保や保険給付の適正化を図るため、実地指導80事業所、集団指導1回、監査等を実施(6~2月) ・地域医療の充実【9②の再掲】 ・地域包括ケア体制の構築支援【9③の再掲】</p> <p>・障がい者のグループホームの利用者を促進するため、盛岡圏域自立支援協議会及び各分科会での助言(随時) ・障がい者の就労を支援するため、障がい者就業・生活支援センターに生活支援等事業を委託</p> <p>・住民及び関係機関への周知徹底、中間的就労などの新たな社会資源の開拓等を図るため社会福祉協議会(県、各町)及び各町との連絡会議を開催(年3回 4、9、2月) ・家計の収支状況を明らかにし、家計管理、滞納の解消及び債権整理などに関する支援を行う家計相談支援事業の推進</p> <p>・高校生、高校中退者への対象拡大及び小学生に対する巡回訪問型の支援を実施するため、学習会の運営方法等について運営協議会(隔月実施)で検討 ・学習会の開催場所、回数について、開催地の教育委員会等と協議(学習会180回、360時間以上を予定) ・学習会を運営するサポートリーダー、サポーターの安定的な確保のため岩手県立大学等との連携 ・県立大学等の教育機関と協議し、大学等見学会を開催【新規】</p> <p>・就労可能な被保護者が早期に就労自立できるよう、就労支援相談員の面談等による計画的な就労支援の推進 ・医療機関訪問やレセプト点検等の実施を通じて、被保護者が必要な医療・介護サービスを適正に受けられるよう支援</p> <p>② 子育て環境の充実支援 ・各市町における子育てでの取組を支援するため、市町担当者による情報交換会の開催(年2回 6、10月) ・市町の子育て施策を支援するため、各市町子ども子育て会議での情報提供や助言により支援(随時) ・地域の子育て環境を整備するため、各種講習会及び企業訪問等によるいわて子育て応援の店協賛店の周知(随時) ・ひとり親家庭の自立を支援するため、市町巡回相談等の取組を集中的に実施(年2回 7~8月)【拡充】</p> <p>③ 自殺対策の推進 ○ 関係機関・団体との連携による自殺対策の推進 ・次期「盛岡圏域自殺対策アクションプラン」の策定を行うため、盛岡圏域自殺対策推進連絡会議を開催(年2回 7、1月) ・関係機関・団体等実務者の情報共有と事例検討等による連携の推進を図るため、実務者によるネットワーク連絡会を開催(年3回 6、10、2月) ・市町の自殺対策計画策定の支援と保健師のハイリスク者支援のスキルアップ等を図るため、市町自殺対策担当者連絡会を開催(年3回 6、10、2月) ○ 普及啓発 ・自殺防止月間(9月)、自殺対策強化月間(3月)における集中的な取組を実施</p> <p>○ 人材養成・育成 ・自殺のリスクの高い人の早期発見、早期対応を図るため、ゲートキーパー養成研修を実施(年10回)(通年) ・生活困窮者等ハイリスク者に関わる職種を対象に資質向上を図るための研修会を実施(年6回 1コース3回を2コース 6~8月)【新規】</p>	<p>保健福祉環境部</p>

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
<p>11 環境を保全し自然と共生する地域社会の創造</p>  <p>ふるさとの森・里・川を守り育てる活動応援キャラクター「りば〜くん」</p>	<p>①再生可能エネルギーの利用拡大と省エネルギー対策の推進 「いわて地球環境にやさしい事業所」認定数(累計) H28:76事業所→H29:80事業所→H30:83事業所</p> <p>②廃棄物の発生抑制と適正処理の推進 住民一人1日当たり生活系ごみ排出量 H28:⑦669㉗→H29:⑧656㉗→H30:⑨651㉗</p> <p>③自然環境の保全・保護 公共用水域のBOD等環境基準達成率 H28:100.0%→H29:100.0%→H30:100.0%</p>	<p>① 再生可能エネルギーの利用拡大と省エネルギー対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いわて地球環境にやさしい事業所」認定取得に向けた支援のため、エコスタッフ養成セミナーを開催 (年1回 1月) ・再生可能エネルギーの利用促進を図るため情報収集・提供を実施 (随時) ・管内市町の環境施策を推進するため、市町の環境審議会等に参画 (随時) <p>② 廃棄物の発生抑制と適正処理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理施設(自動車リサイクル法関連施設を含む)等の適正処理を推進するため、計画的かつ継続的な立入調査・指導を実施 産廃Gメン等による立入指導 (延べ3,000件) 廃棄物不法投棄防止月間(6、10月)における各種パトロール(県境パト、スカイパト、建設リサイクルパト) PCB廃棄物の適正処理に向けた監視の強化(随時)【拡充】 ・管内市町の廃棄物適正処理施策の推進を支援するため、市町の廃棄物対策審議会等に参画 (随時) ・県央ブロックごみ処理基本構想に基づく事業の円滑な推進を図られるよう、会議等において広域的な観点から技術的助言を実施(協議会3回、広域化部会6回) <p>③ 自然環境の保全・保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 環境保全の推進及び水質検査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・管内の環境保全に係る取組等を周知するため、「流域情報ネットワーク」(部ホームページ)による情報提供を実施 (随時) ・公共用水域の計画的な水質検査の実施(14流域) ○ 「水と緑の保全活動促進事業」【地経費】 <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習・環境保全活動の担い手を養成するため「りば〜くんの郷づくりパートナー」認定制度を創設し、養成講座等を開催(基礎講座(5月)、専門講座(7月)、実践活動(8月))【一部新規】 ・環境保全活動団体、事業者等との連携・協働を推進するため、「環境保全活動事業連携促進集会」を開催 (年1回 10月) ・環境保全に係る普及啓発を図るため、イベント等において流域マスコットキャラクター等を活用 (随時) ・流域協議会の開催(年2回 5、9月) ○ 関係機関・団体との連携による野生鳥獣対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・クマによる人身被害防止を図るため、「ツキノワグマ重大事故発生時における対策会議」の設置(随時) ・シカ及びイノシシによる農林業被害防止を図るため、捕獲に係る担い手養成、捕獲技術向上研修会を開催 (年2回 時期は未定) ・ハクビシンによる被害防止を図るため、ITを活用した生態研究を行う岩手大学と連携し、捕獲技術向上研修会を開催(8月 6回)【新規】 ・関係団体及び市町との協働による狩猟者育成の支援(随時) ・高病原性鳥インフルエンザによる被害防止を図るため、サーベイランス等を実施(随時) 	<p>保健福祉環境部</p>

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当															
<p>12 快適な都市機能の充実と住み良いまちづくりの推進</p>  <p>整備後</p> <p>地上階層</p> <p>ガス</p> <p>上水道</p> <p>下水道</p> <p>電線共同溝</p> <p>地下階層</p> <p>無電柱化の整備イメージ 出典：国交省</p>	<p>①交通渋滞が解消・緩和される街路完了工区数(累計) H28:2工区→H29:2工区 →H30:3工区</p> <p>高齢社会に対応した県営住宅の建替え・改善戸数(累計) H28:216戸→H29:240戸 →H30:266戸【274戸】</p> <p>災害公営住宅の整備戸数(累計) H29:24戸→H30:50戸</p> <p>②まちば再生への取組件数(協議会等開催回数)(累計) H28:6件→H29:7件→H30:9件</p> <p>③無電柱化の施工延長(H21以降の累計) H28:460m→H29:890m →H30:890m【H29完了】</p> <p>④歩道整備事業完了工区数(H21以降の累計) H28:7箇所→H29:7箇所 →H30:9箇所</p> <p>⑤水洗化人口割合 H28:86.4%→H29:未定 →H30:89.1%</p> <p>⑥地域コミュニティ担当者研修会開催回数 H28:2回→H29:2回→H30:2回</p>	<p>①高次都市機能の充実</p> <p>○街路整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都)盛岡駅長田町線 盛岡市長田町地区(工事の推進、H30完了) ・都)盛岡駅本宮線 盛岡市杜の大橋地区(着手時期の検討) <p>○県営アパートの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備後第1アパート9号棟(18戸)、10号棟(8戸)、13号棟(8戸)建設(H30年度完成予定) <p>上記の県営アパートのうち災害公営住宅として整備するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備後第1アパート9号棟(18戸)、10号棟(8戸)建設 <p>②中心市街地の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般国道281号城内小路地区(ソフト対策の実施、地元協議の継続) <p>③ユニバーサルデザイン・景観に配慮したまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都)盛岡駅長田町線 盛岡市長田町地区(H29完了済) <p>④安全・安心な歩行空間の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般県道大更好摩線好摩工区ほか(整備の推進) <p>⑤污水处理施設の計画的な整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町が実施する下水道、農業集落排水、浄化槽の各事業の支援 <p>⑥地域コミュニティ活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町担当者への研修会や意見交換会の実施(6月~11月、2回)【県南局と連携】 ・移住フェアへのブース出展(1回)【新規】【地経費】 ・盛岡広域での暮らしを紹介するパンフレットの作成等、管内市町における移住定住施策への支援【新規】 【盛岡広域首長懇談会事務検討会議地方創生連携専門部会と連携】 	<p>土木部 経営企画部 農政部</p>  <p>内陸災害公営住宅イメージ</p>															
<p>13 住民の生命と財産を守る防災対策の推進</p>	<p>①岩崎川(芋沢川合流点~県道不動盛岡線間2,640m)の整備率 H28:87.0%→H29:81.9% →H30:100%</p> <p>土木災害危険箇所の基礎調査数(累計) H28:1,375箇所→H29:1,604箇所 →H30:1,677箇所</p> <p>火山砂防施設の整備実施箇所数(累計) H28:3箇所→H29:3箇所 →H30:4箇所</p>	<p>①災害による被害を軽減する洪水・土砂災害対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・築川ダムの整備(堤体コンクリート打設の推進、H32年度完了予定) ・岩崎川の整備(家屋移転補償、橋梁1・河川改修2工区・用水保証工事の推進) ・木賊川の整備(遊水地工事の推進) ・北上川、松川(盛岡市玉山区内)の整備(用地補償の推進、工事着手) ・北上川(岩手町内)の整備(工事の推進) ・通常砂防事業の整備推進(横沢川、市内内の沢、ヌナヤ沢) ・火山砂防事業の整備推進(平の沢、平笠東沢、スキー場南沢、外水沢) ・土砂災害警戒区域等の指定(基礎調査、住民説明会・区域指定の推進) <table border="1"> <tr> <td>基礎調査</td> <td>盛岡</td> <td>0箇所(H29完了)</td> <td>岩手</td> <td>56箇所</td> </tr> <tr> <td>住民説明会</td> <td>盛岡</td> <td>10回(46箇所)</td> <td>岩手</td> <td>12回(122箇所)</td> </tr> <tr> <td>区域指定</td> <td>盛岡</td> <td>30箇所</td> <td>岩手</td> <td>122箇所</td> </tr> </table>	基礎調査	盛岡	0箇所(H29完了)	岩手	56箇所	住民説明会	盛岡	10回(46箇所)	岩手	12回(122箇所)	区域指定	盛岡	30箇所	岩手	122箇所	<p>土木部 農政部 経営企画部 林務部</p>  <p>築川ダムの完成予想図</p>
基礎調査	盛岡	0箇所(H29完了)	岩手	56箇所														
住民説明会	盛岡	10回(46箇所)	岩手	12回(122箇所)														
区域指定	盛岡	30箇所	岩手	122箇所														

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
	<p>②橋梁の耐震対策完了橋梁数 (H21以降の累計) H28:5橋→H29:5橋→H30:10橋</p> <p>木造住宅耐震診断(累計) H28:1,268戸→H29:1,297戸 →H30:1,400戸</p> <p>木造住宅耐震改修(累計) H28:99戸→H29:101戸 →H30:149戸</p> <p>③岩手県橋梁長寿命化修繕計画に 基づく橋梁の修繕数(橋長15m 以上)(H21以降累計) H28:57橋→H29:62橋→H30:73橋</p> <p>④保全管理を行う防災ダム群数 (地区) H28:2地区→H29:2地区 →H30:2地区</p> <p>⑤水防体制の強化のための合同 水防訓練の実施回数 H28:1回/年→H29:1回/年 →H30:1回/年</p> <p>土砂災害危険箇所の点検、避 難のための合同パトロールの実 施回数 H28:8回/年→H29:8回/年 →H30:8回/年</p> <p>⑥岩手山火山防災対応力強化</p>	<p>②地震に強い社会資本の整備 ・好摩跨線橋の耐震補強(整備推進) ・木造住宅の耐震診断、耐震改修の支援</p> <p>③社会資本の計画的な維持管理 ・橋梁(主要地方道紫波江繋線紫波橋ほか)、河川管理施設の計画的な補修・更新 ・道路舗装の予防的な維持管理(一般県道紫波雫石線志和工区ほか)</p> <p>④農業用防災施設の保全管理 ・御所及び安代地区の防災ダムの適切な保全管理と補修</p> <p>⑤地域関係団体や地域住民との連携による防災対応 ・合同水防訓練の実施 ・土砂災害危険箇所点検パトロールの実施</p> <p>⑥火山災害に関する研修会の開催[総合防災室と連携] (講師) 気象台職員等、総合防災室職員など (時期) 未定(開催時期は総合防災室との協議) (内容案) ・噴火警報・予報についての説明(気象台職員) ・平成29年度策定の「岩手山火山避難計画」の内容及び県の防災対策についての説明(総合防災室職員)</p>	
14 国際ニアコライダー (ILC)の普及啓発の推進	○小中学校への出前授業等件数(H29 ~実施方法変更)【独自】 H28:8件→H29:4件→H30:7件	○国際ニアコライダー(ILC)の普及啓発の推進 ・小中学校への出前授業等による普及啓発(5月~11月:小学校2校、中学校5校) 【小学校出前授業は盛岡市と連携】【地経費】 ・ILC普及員(ILCIについて解説できる人材)を養成するため、ILCIに興味を持つ方を対象とした養成講座の開催 (通年:5名程度)【新規】【地経費】 ・管内で開催されるイベントにおけるILC普及啓発の取組(通年) ・多文化共生に向けた課題検討会への参画【盛岡市と連携】【新規】	経営企画部
15 広域連携の推進	○管内市町との定期的な情報交換・ 連携	<p>① 広域連携の推進 ・各市町との訪問意見交換会の実施(6月、8市町) ※次期総合計画の策定に向けた知事と管内市町長との意見交換の実施(7/30)【本庁主催】 ・管内市町のニーズを踏まえた広域連携への支援等(観光、海外展開、職員研修等)【一部新規】</p> <p>② みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンにおける取組の具体化への支援 ・みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン懇談会(諮問機関)への参画 ・盛岡広域首長懇談会事務検討会議及び盛岡広域首長懇談会事務検討会議専門部会への参画</p>	経営企画部



項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
16 県税の適正かつ公平な賦課徴収	<p>①適正・公平な課税の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 課税資料の早期処理と調査の促進 個人事業税 <ul style="list-style-type: none"> 定期賦課 8月課税 随時分 資料収集月の翌月課税 要調査分の翌々月課税 外形標準課税法人等の自主決定調査 <ul style="list-style-type: none"> H31年2月末完了 125法人 401事業年度 課税免除調査 <ul style="list-style-type: none"> H31年1月末完了 15法人 	<p>① 確実に迅速な課税の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 直税班事務執行要領に基づく調査の実施 課税資料現計表による課税資料管理と進捗管理 定期賦課期における課内業務支援 法人調査班事務執行要領に基づく調査の実施 調査計画表による進捗管理 外形標準課税等法人調査勉強会の開催による調査能力の向上 医療法人等に係る自主決定調査への課内業務支援 	県税部
	<p>不動産取得税(承継取得分)</p> <p>資料収集月の翌月課税</p> <p>要調査分の翌々月課税</p> <p>自動車税</p> <p>納税通知書送達 10月末完了</p> <p>課税免除処理 6月末完了</p>	<ul style="list-style-type: none"> 不動産取得税班事務執行要領に基づく調査の実施 登記済通知書現計表による課税資料管理と進捗管理 間税班との計画的業務支援 間税班事務執行要領に基づく業務の実施 返戻処理簿による進捗管理 不動産取得税班との計画的業務支援 	
	<p>軽油引取税</p> <p>課税捕捉調査</p> <p>12月末までに 50 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> 間税班事務執行要領に基づく調査の実施 軽油引取税調査計画による進捗管理 	
	<p>②滞納整理促進による収入未済額の縮減</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人県民税の収入未済額 整理対象収入未済額(個人県民税及び軽油引取税等の徴収猶予分を除く) <ul style="list-style-type: none"> H28:1億501万円→ H29:1億4,081万円(見込み)→ H30:1億円 (中期目標:H33年度末9千万円) 	<p>② 効率的かつ効果的な滞納整理の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町との徴収協力 徴収対策会議等の開催 共同による滞納整理の実施(催告、搜索、差押等) 大口特殊及び長期滞納者への滞納処分の執行 現年度課税分に係る計画的な滞納整理の実施 不動産公売の実施 	
	<ul style="list-style-type: none"> 自動車税収入未済件数 <ul style="list-style-type: none"> H28:1,715件→ H29:1,805件(見込み)→ H30:1,600件 (中期目標:H33年度末1,500件) 	<ul style="list-style-type: none"> 滞納事案に即した効果的な催告の実施 各種調査(身上・預貯金等)の早期着手及び債権差押の執行 	
	<p>③ 東日本大震災津波への対応</p>	<p>③ 東日本大震災津波の特例措置対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 家屋評価の専門スキルを持つ職員の育成と室内の業務支援を図ることにより、沿岸局等からの家屋評価支援要請に対応【沿岸局と連携】 	



県税イメージキャラクター
ケン 税くん

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
17 若者・女性の活躍支援	<p>①女性の認定農業者数(累計) H28:127名→H29:未定 →H30:190名</p> <p>③若者文化振興事業費補助件数(H29 ~)【再掲】 H29:1件→H30:1件</p> <p>④子育て環境の充実【再掲】 ・保育を必要とする子どもに係る 利用定員 H28:10,623人→H29:未定 →H30:11,133人 ・「いわて子育て応援の店」の延 べ協賛店舗数【累計】 H28:540店舗→H29:580店舗 →H30:575店舗【600店舗】</p>	<p>① 若手農業女性の活躍支援【4①再掲】 ・若手女性農業者支援対象リスト掲載者等を対象とした研修会及び情報交換会等の開催(5回) ・女性農業者が参加する各種研修会等における経営改善計画の共同申請を誘導(随時) ・女性の経営参画に向けた牛飼女子グループ等の自立的な活動を支援(4~3月)</p> <p>② 企業における雇用・労働環境整備の促進【6④再掲】 ・働き方改革の取組や労働条件の改善等について商工団体等への要請(6月) ・企業訪問時における企業に対する働き方改革の普及啓発 ・県契約受注者の法令遵守や適正な労働条件の確保を図るための取組の推進(随時)</p> <p>③ 文化芸術の振興【8③再掲】 ・文化芸術活動支援ネットワーク会議の活動支援 ・文化芸術活動に取り組んでいる若者の掘り起こし及び活動支援 ・管内市町における「明治150年」関連の取組への支援【新規】</p> <p>④ 子育て環境の充実支援【10②再掲】 ・各市町における子育ての取組を支援するため、市町担当者による情報交換会の開催(年2回 6、10月) ・市町の子育て施策を支援するため、各市町子ども子育て会議での情報提供や助言により支援(随時) ・地域の子育て環境を整備するため、各種講習会及び企業訪問等によるいわて子育て応援の店協賛店の周知(随時) ・ひとり親家庭の自立を支援するため、市町巡回相談等の取組を集中的に実施(年2回 7~8月)【拡充】</p>	経営企画部 保健福祉環境 部 農政部
18 会計事務の適正な執行の 確保	<p>① 適切な会計事務処理の実施</p> <p>② 会計事務担当者の資質の向上</p>	<p>① 監査の指摘等を踏まえた会計検査、支出審査等の実施による不適切な事務処理の再発防止 ・会計実地検査(9~11月) ・抜き打ち現場確認・指導の実施(随時) ・緊急払及び支払不能更正の縮減に向けた支払事務の指導(随時)</p> <p>② 不適切な会計事務処理等を踏まえた研修会の実施と適切な指導による会計事務処理能力の向上 ・管内公所に対する出前研修(随時) ・会計事務処理適正化等研修(6月) ・管内地方公所等会計事務担当者研修会(年2回程度)</p>	盛岡審査指導 監

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
19 地域課題にチャレンジする 職員の育成	<p>①基本的な執務能力の向上</p> <p>②地域課題・行政課題等の発見、 解決能力向上</p> <p>③危機管理能力の向上</p>	<p>○仕事の進め方 ・若手職員研修(4月、その後は随時) ・特別講演会(3月)</p> <p>○接遇等 ・マナー研修(6月) ・クレーマー研修(8月)</p> <p>○健康づくり ・健康セミナー(7月、11月)、 ・メンタルヘルス研修(9月 総務事務センター共催) ・健康推進講座(11月 地方共済組合と共催)</p> <p>○安全管理 ・交通安全研修(7月、12月) ・普通救命研修(AED使用法等)(8月)</p> <div data-bbox="1473 411 1973 539" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>※ 盛岡広域8市町の職員と研修機会を可能な限り共有【新規】</p> </div> <p>・被災地視察研修(7月) ・フロントランナーに学ぶ(10月) ・若手職員課題解決グループ「もりっと!」の取組(4月～3月) (第1四半期) ・取組み課題の設定 ・課題に関する現状調査の実施 ※局内若手職員へのアンケート調査実施等検討 ・現状の評価 (第2四半期) ・現状を踏まえた「あるべき姿」の検討 ・解決策素案の検討 (第3四半期) ・解決策素案の策定 ※素案に関する局内若手職員意見交換等検討 ・解決策のとりまとめ (第4四半期) ・報告書の作成 ・報告会の実施</p> <p>・鳥インフル対応能力向上 〔 鳥インフルエンザ対応研修(新任者等研修)(7月) 鳥インフルエンザ対応実動訓練(消毒ポイント設置運営等)(9月) 鳥インフルエンザ対策(総務調整班等)研修(11月) 〕</p> <p>・盛岡地区合同庁舎総合防災訓練(9月)</p> <p>・火山防災研修(時期未定)【13⑥の再掲】</p>	経営企画部

2 組織運営課題

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
<p>1 働きやすい職場環境の整備</p> <p>2 ワークライフバランスの実践</p> <p>3 「健康経営」の推進</p>	<p>1 職場環境の整備と長時間勤務の縮減により働きやすい職場を創造する。超過勤務時間をH29より縮減します。(参考)H29(年間平均) 114時間/人</p> <p>2 子育て・介護等と仕事の両立を図ります。</p> <p>3 「健康経営」の考え方による職員の健康維持、健康づくりの動機付け支援に取り組みます。</p>	<p>職場づくり、仕事を進める上での4つのキーワードである「対話と笑い、成長と伝承」の実践を通じて、効率的・効果的に業務を進めるとともに、盛岡広域振興局職員衛生委員会の職場巡視や組織パフォーマンスを向上させ、個人負担の軽減と長時間勤務の縮減を図ります。</p> <p>1 次の取組を推進し、職場環境の整備と長時間勤務の縮減を図ります。 ① 年間業務スケジュールを作成し、スケジュール調整による年間業務量の平準化や相互支援による個人負担の軽減を行う。 ② 会議制限時間の設定、上司による迅速な指示等の徹底などにより、個々の業務にあたる時間を確保する。 ③ 衛生委員会の職場巡視により、職場環境の点検を実施し、職場環境の整備を図る。 ④ 毎週1回を「ノー残業デー」に設定し、定時退庁に取り組み、午後8時完全退庁の取組により、慢性的な長時間勤務の是正を図る。</p> <p>2 次の休暇取得について、気運の醸成を図り、休暇を取得しやすい環境づくりを推進します。 ① 休日等勤務の振替を徹底し、子育てや趣味等の時間を確保する。 ② 月に1度以上は、時間単位の年次取得により、少し早く帰り、夕方時間の充実によりリフレッシュを図る「マンスリープレミアムデイ」の取得を奨励する。 ③ 誕生日等にあわせ年次休暇を取得する「私の記念日休暇」の取得を奨励する。【新規】</p> <p>3 盛岡広域振興局職員衛生委員会を活用しながら「健康経営」の考え方による職員の健康管理・健康づくりを進めます。 ① 全公所において、「健康づくりチャレンジマッチ(体重測定、血圧測定及び歩数測定の3メニューを行い、結果を記録し、取組状況を見える化)」や「ラジオ体操グランプリ」に取り組みます。【新規】 ② 健康サポート研修、スワンの日の取組みを継続します。</p>	<p>各部等 経営企画部</p> <p>経営企画部 保健福祉環境部</p>

3 「岩手県職員憲章～私たちの5つの信条～」の具現化に向けた取組

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当
(1) 県民本位の行政サービスの提供【県民本位】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 常に県民の視点、立場に立ち、現在、そして未来の「県民全体の利益」を考え行動している。 ・研修参加 1回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会環境の変化や県民目線での課題・ニーズの把握、情報収集等 ○ 対応事例・参考事例の情報共有 ○ 対応マニュアルの周知 ○ 研修の実施 	各部等 経営企画部
(2) 能力向上を図り課題に果敢にチャレンジ【能力向上】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創意工夫を凝らし、柔軟な発想で、「新たな課題に果敢に挑戦」している。 ・研修参加 1回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職場研修の積極的な実施 ○ 現場研修(管内施設等の視察) ○ 出前授業・出前講座(児童・生徒・地域住民等に振興局の業務を周知) ○ 職員への業務目標の明確提示、遂行方法の委任 ○ 若者や女性目線の発想による業務、改革等の取組み推進 ○ マナー研修 ○ 若手職員による取組の企画・実施 	各部等
(3) 明るい職場づくりの推進【明朗快活】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員間のコミュニケーションが活発な「明るく、いきいきとした職場」となっている。 ・職員衛生委員会職場巡視実施 2回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報告・連絡・相談の迅速かつ的確な実施 ○ 職員間の意思疎通の円滑化(各種ミーティング、局長と職員との懇談、所属長と職員との面談等) ○ 業務の繁閑に応じた職員の適正配置、事務分担の見直し ○ 職員衛生委員会による職場巡視 ○ 各職場における定期的な整理と点検の実施 ○ 休暇(ボランティア、年次等)の取得しやすい環境の整備 ○ 子育て、介護等を行う職員の早出遅出勤務や時差通勤制度の積極活用 	各部等
(4) 法令を遵守し公正、公平な職務遂行【法令遵守】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「規律」を重んじ、「公正、公平」に職務を遂行し、県民から信頼されている。 ・交通安全研修実施 1回/年 ・管内地方公所等会計事務担当者研修会実施 1回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「コンプライアンス確立の日」における訓示の実施 ○ 「コンプライアンス確立の日」などにおける「岩手県民憲章」の徹底 ○ 交通安全研修の開催 ○ 管内地方公所等会計事務担当者研修会 	各部等 経営企画部 盛岡審査指導監
(5) 地域とともに歩む【地域意識】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域社会の一員としての「自覚」と県職員としての「誇り」をもって、「誠実」に行動している。 ・合同庁舎周辺の清掃活動 2回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種ボランティア活動(森林整備等) ○ 合同庁舎前の歩道の落葉清掃(10/下～11/下) ○ 合同庁舎前の緑化や周辺の清掃活動 ○ 河川清掃活動 ○ 盛岡さんさ踊り・雪灯りなどの地域行事 	各部等